

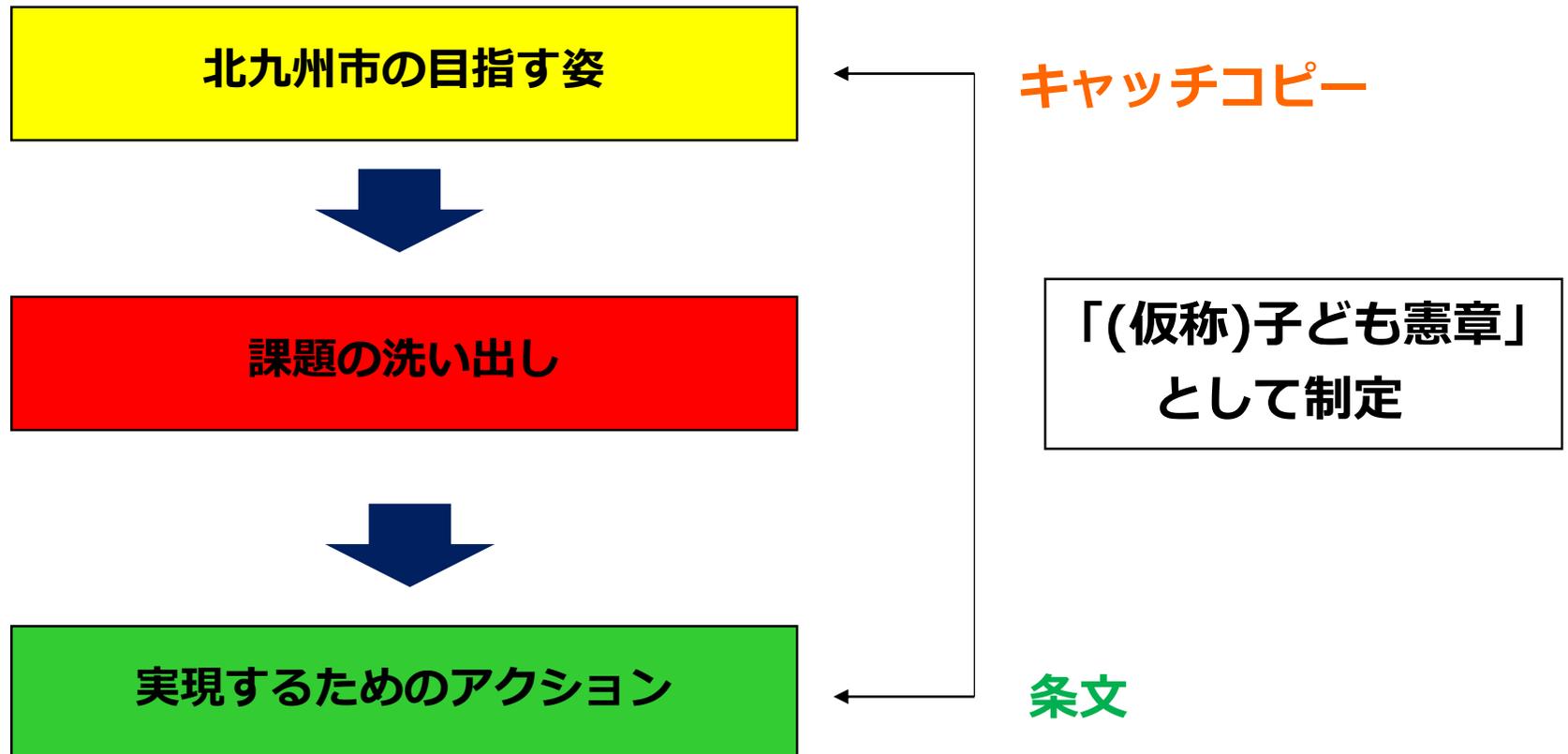
2 意見を踏まえた「(仮称)子ども憲章」の方向性

項目	前回	今回
<p>① 主体・視点</p>	<p>大人→大人を基本とし、子育て中の方や、その周囲の方などが共有できるもの</p>	<p>大人→大人を基本とするが、子育て中の方や、その周囲の方をはじめ、子どもにも伝えるような広く双方向に共有できるもの</p>
<p>② 盛り込む内容</p>	<p>他都市の「憲章」のようなものではなく、例えば「北九州市子育て10か条」のような、やわらかい言葉とする</p>	<p>大人も子どもも同じ気持ちになれるような、聞いて心がほんわかする言葉とする (本日、内容を深掘り)</p>
<p>③ 全体の構成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前文(「(仮称)子ども憲章」制定の経緯、目的 など) ・本文(条文形式で、短い言葉を数本制定) <p>の2部構成とする</p>	<p>まず一つ、全体を表す大きなキャッチコピーがあり、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前文(「(仮称)子ども憲章」制定の経緯、目的 など) ・本文(条文形式で、短い言葉を数本制定) <p>の2部構成とする</p>

3 盛り込む内容（深掘り）

【考え方：バックキャストिंग】

▶理想的な未来を実現するために必要なステップや行動を逆算する



3 北九州市が目指す姿（案）

▶ 包摂性と寛容性をもって、北九州市全体で子どもや子育て家庭を応援する！



【キャッチコピー】

《案1》

北九州市は、「子どもをあたたかく見守るまち 日本一」を目指します。

（機運が上がる到達目標を設定する）

《案2》

北九州市は、市民全員で「子ども」と「子育て家庭」を全力応援します。

（「市民全員で」という言葉を明示する）

《案3》

北九州市民全員で、子どもと接する時は「にこにこスイッチ」を心がけます。

（「にこにこスイッチ」という言葉を浸透させるために、目指す姿に入れ込む）

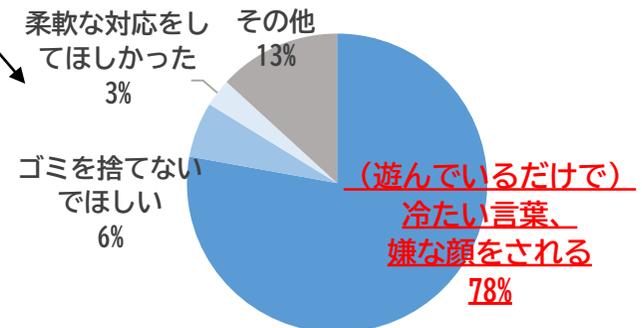
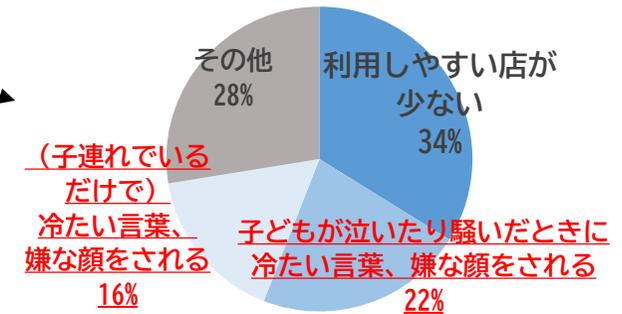
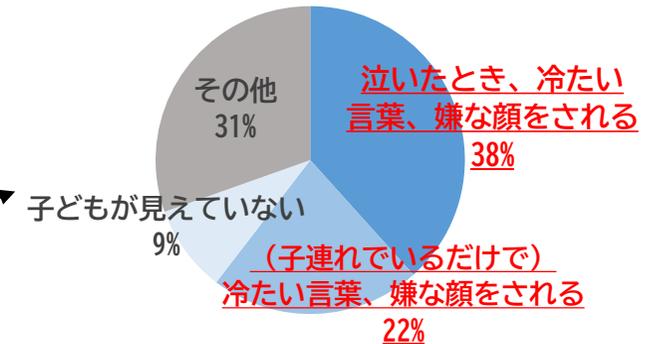
3 課題の洗い出し

【課題①】 社会全体の雰囲気

- ▶ 買い物や飲食店等で子どもが泣いたときや、「子連れでいるだけ」で嫌な顔をされる

【R5.8月 北九州市アンケート】

場面	件数	割合
買い物	1,391	11.6%
食事	690	5.8%
公園・遊び場	498	4.2%
公共交通機関	450	3.8%
保育・学校等	222	1.9%
たばこ	204	1.7%
駐車場	202	1.7%
近所	196	1.6%
エレベーター	155	1.3%
病院	147	1.2%
職場	106	0.9%
トイレ	42	0.4%
行政	31	0.3%
場面なし	4,701	39.2%
無回答	2,953	24.6%
合計	11,988	100%

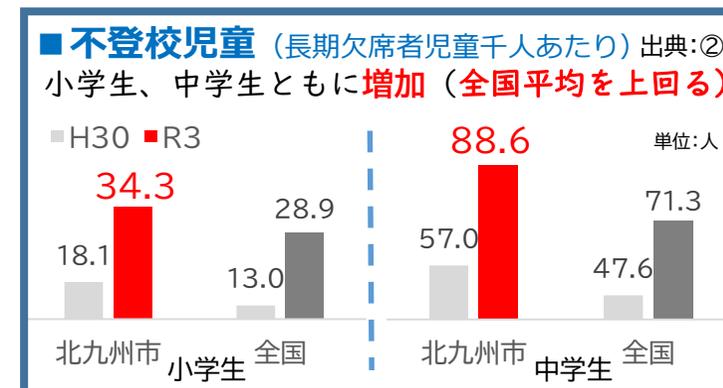
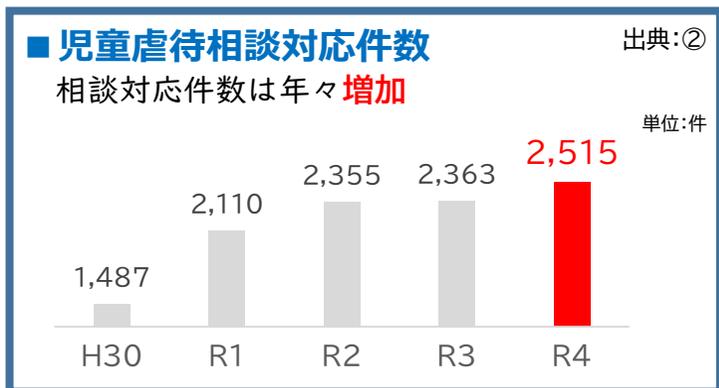
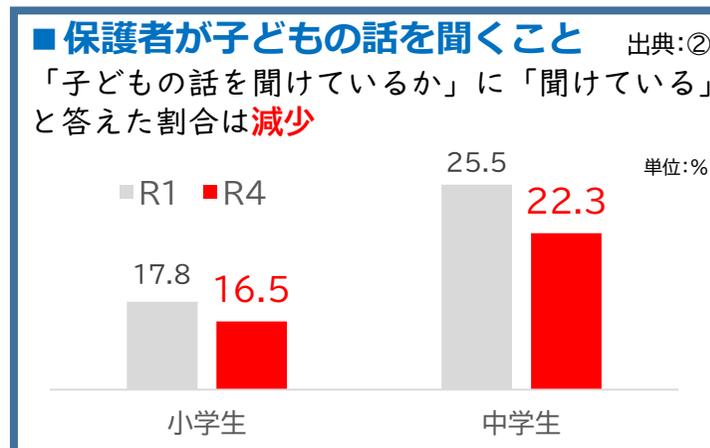
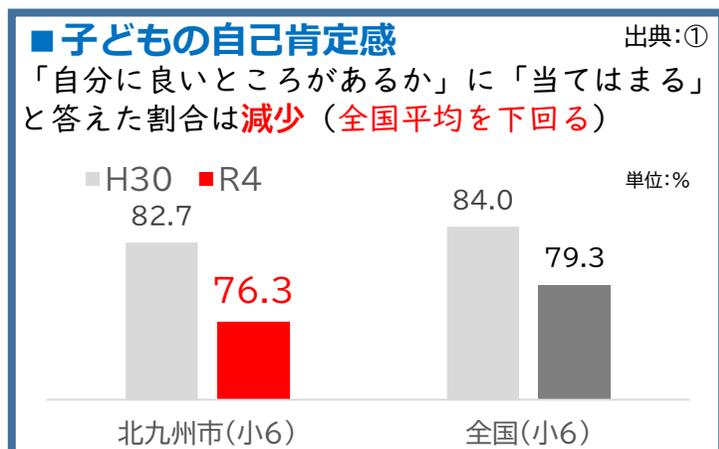


3 課題の洗い出し



【課題②】子どもを取り巻く現状

▶ 子どもの自己肯定感が低い、保護者が子どもの話を聞けていない等



【出典】

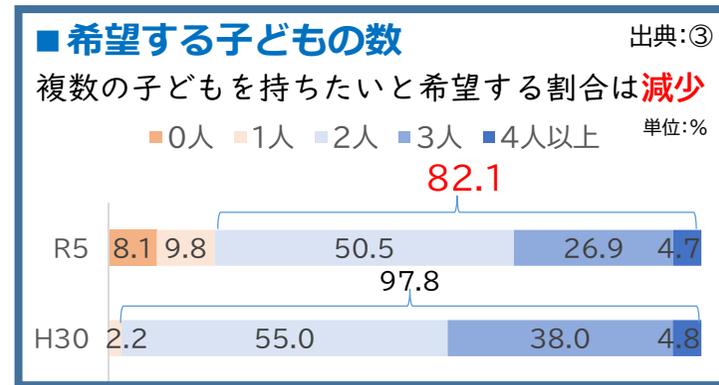
①文部科学省「全国学力・学習状況調査」(毎年) ②子どもプラン点検・評価に関するアンケート(毎年)

3 課題の洗い出し

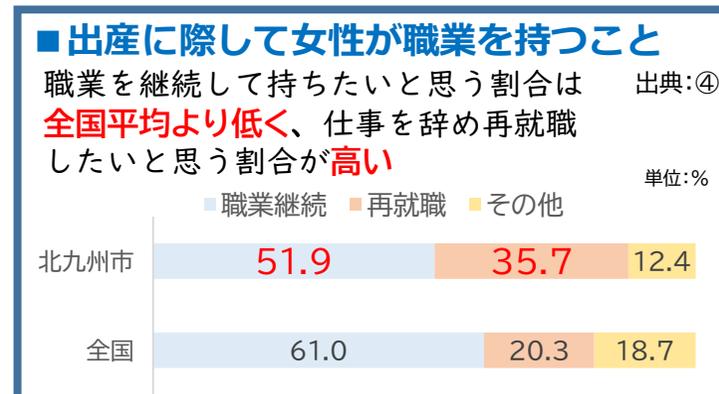
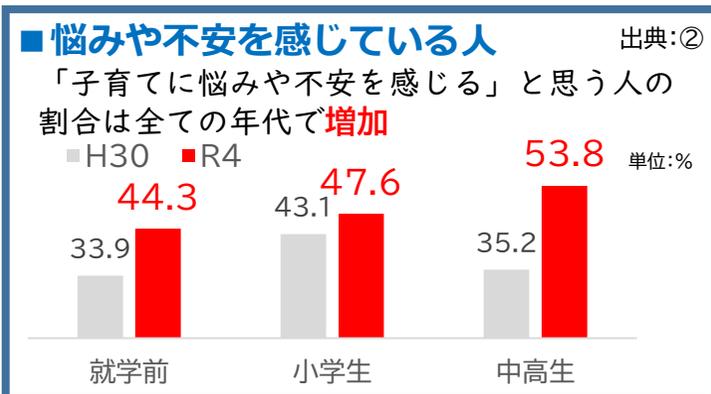
【課題③】若者・子育て家庭

▶ 結婚や子どもに関する希望が減少、子育てに悩みや不安を感じる人が増加 等

★若者



★子育て家庭



【出典】②子どもプラン点検・評価に関するアンケート(毎年) ③子ども・子育て支援に関する市民アンケート(計画策定時)(R5は速報値)
④「北九州市男女共同参画社会に関する調査(計画策定時)」

3 実現するためのアクション（案）

○ 地域みんなで取り組む、子ども・子育て見守りアクション

- ① 子どもがいる場面では、周りの大人みんなが **「にこここスイッチ」** をいれて優しく見守ろう！
- ② 子育ては楽しいことも大変なこともあるから、親も子も地域も **「みんなで成長」** しよう！
- ③ 子どもと向き合う時は、自分も子どもだった頃を思い出して、 **「子ども目線」** を大切に。
- ④ 子どもを叱るときは愛をもって、 **「愛情コラッ!」** を大切に。
- ⑤ 子どものまわりには、いつも沢山の **「ありがとう」** を。

